

壁面緑化に用いられる主なツル植物

樹種は、常緑のヘデラ類を主体とすることで剪定管理を省力化できます。

壁面の高さが3 m以上の場合は、ヘデラ類を基本種とし、生長が早い樹種を混植することをおすすめします。

区分	植物名	花	登はん形態	被覆状態の特徴	被覆速度	登はん補助資材			省管理樹種
						資材なし	金網のみ	金網+マット	
常緑	ヘデラ・カリエンシス	×	付着根	全面平滑的 密	普通	△	△	◎	○
	ヘデラ・ベルグス	×	付着根	全面平滑的 密	普通	△	△	◎	○
	オイタビ	△	付着根	全面平滑的 密	遅い	○	○	◎	○
	ツガネズラ(ビグノニア)	○	巻ひげ、付着盤	分枝がなく直線的で疎	早い	△	○	◎	
	テイクズラ	○	付着根、巻つる	全面平滑的 疎	普通	△	△	◎	
	アリカカマサキ・コラータス	△	付着根	全面平滑的 密	遅い	△	△	◎	○
	カライソジャズン	○	巻つる	下部が疎となり易い	普通	×	◎	◎	
	ムベ	△	巻つる	下部が疎となり易い	早い	×	◎	◎	
	サネズラ(ビナカズラ)	△	巻つる	下部が疎となり易い	早い	×	◎	◎	
	クレマチス・アルマデー	○	巻葉柄	下部が疎となり易い	普通	×	◎	◎	
半常緑	スイカズラ	○	巻つる	下部が疎となり易い	早い	×	◎	◎	
	ツキシロトウ	○	巻つる	下部が疎となり易い	早い	×	◎	◎	
	トケイウ	○	巻ひげ	下部が疎となり易い	早い	×	◎	◎	
落葉	ナツタ	△	付着盤	全面平滑的 密	早い	○	○	◎	
	ルビナカズラ	◎	付着根、巻つる	下部が疎となる	早い	△	△	◎	
	アジ	○	巻つる	下部が疎となる	早い	×	◎	◎	
	アヒ	△	巻つる	下部が疎となり易い	普通	×	○	◎	
	キウイ(シサルガシ)	△	巻つる	下部が疎となり易い	早い	×	◎	◎	
	クレマチス類	○	巻葉柄	下部が疎となり易い	普通	×	◎	◎	

花

登はん補助資材

◎ 観賞性が高く花期が長い

◎ 最適

○ 観賞性のある花が咲く

○ 適

△ 花は咲くが観賞性が低い

△ 可

× ほとんど咲かない

× 不可

地域の気候、壁面の向き、日当たり、風、及び管理の形態等のご要望に合わせ、適切な樹種の組合せをご提案しております。お気軽にご相談ください。